

近年の災害を踏まえた BCP（事業継続計画）講習会

— 企業防災支援ソフト「Bizilire」を体験する —

開催日

11/18（水）10：00～

会場

Zoom（オンライン）

※接続先は後日ご案内

所要時間

90分程度

※案内・試用・意見交換

本講習会について

香川大学と京都大学では、JST SICORP(戦略的国際共同研究プログラム)において、地震・水害を対象に、各事業者の防災対策やBCPの効果を「見える化」するソフトウェアを開発しています。被災経験のある事業者へのアンケート調査をもとに、想定される被害状況と各種対策の効果を把握できる診断機能を実装しました。本講習会では、実際にソフトウェアを体験していただくとともに、機能の向上・追加や今後の継続利用について、忌憚のない意見交換ができれば幸いに存じます。

ソフトウェアでできること



01 被害を見る

企業規模・事業特性に応じて、
想定される被害状況を提示

02 対策を測る

各種対策の効果を診断し、
BCPの実効性を可視化

03 AIが助言

今後取り組むべき防災対策を
AIがアドバイス

▲ Bizilire のホーム画面（防災意識ポイント・診断・掲示板を一元管理）

※ Bizilire のシステムは、香川大学・上井俊祐 技術主任の設計のもと、株式会社アイソルーツ、Sovie Inc. が実装のサポートをしています。

開催概要

開催日時 2026年11月18日10:00～（90分程度）

会場 Zoom によるオンライン開催

所要時間 90分程度（ご案内30分／ソフトウェア試用30分／意見交換30分）

対象 企業の防災・BCP ご担当者、経営者の皆様

主催 香川大学 防災危機管理コース／京都大学 防災研究所

共催 岡山商工会議所／高松商工会議所／地方経済総合研究所/地方総研/OYO共創Lab 他

お申し込み

※ 講師の略歴は裏面をご覧ください。

下記の申込フォーム（URL・QRコード）よりお申し込みください。

【申込URL：<https://forms.gle/ea8nsj6ozEaFdLRk8>】



講師略歴

主催：香川大学 防災危機管理コース / 京都大学 防災研究所



梶谷 義雄

KAJITANI Yoshio

香川大学 創造工学部 防災・危機管理コース 教授／博士（工学）

「人間社会にあふれる様々なリスクを理解し、上手に付き合うための方法論」を研究テーマに、自然災害の影響をシミュレーションする技術の開発を専門とする。被災地における事業者の動態調査を多数実施し、企業の被災・復旧実態にもとづく被害評価と防災対策・BCPの効果分析に関する論文等を執筆。本ソフトウェアの診断ロジックの設計を担当しています。



多々納 裕一

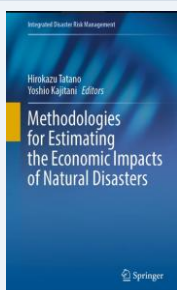
TATANO Hirokazu

京都大学 防災研究所 気候変動適応研究センター 教授／博士（工学）
（大学院情報学研究科 兼任）

災害リスクを社会全体でどのように分担し管理するかという「災害リスクガバナンス」を中心に、災害による経済被害の評価やリスクファイナンスの研究に長年取り組んでいます。国際総合防災学会（IDRIM）会長、世界防災研究所連合（GADRI）事務総長などを務めています。

これまでの事業所調査データを用いた研究成果

編 著 書



Tatano, H. and Kajitani, Y. (Eds.)
Methodologies for Estimating the
Economic Impacts of Natural Disasters,
Springer, 2021. (Integrated Disaster Risk
Management)

主 な 共 著 論 文

- ・ Shimizu, S., Kajitani, Y., Yamazaki, M. et al.: Long-term business impacts of disasters on firm sales: six years of panel data following the 2016 Kumamoto Earthquake, J. Disaster Sci. Manag., 2, 21, 2026.
- ・ Liu, H., Tatano, H., Kajitani, Y., Yang, Y.: Methodology for estimating regional production capacity loss rate in industrial sectors caused by disasters: the 2016 Kumamoto Earthquakes, Int. J. Disaster Risk Reduction, 110, 104631, 2024.
- ・ Liu, H., Tatano, H., Kajitani, Y., Yang, Y.: Modeling post-disaster business recovery under partially observed states: the 2011 Great East Japan Earthquake, J. Cleaner Production, 374, 133870, 2022.
- ・ 清水智ほか：被災企業における操業能力の業種別回復過程のモデル化 — 2016年熊本地震の事例 一、土木学会論文集、Vol.81、No.20、2025.
- ・ 清水智ほか：地震対策が被災直後の操業能力に与える効果 — 熊本地震・福島県沖の地震を対象とした定量分析 一、日本地震工学会論文集、Vol.25、No.11、2025.
- ・ 黒田望、梶谷義雄、多々納裕一：平成30年7月豪雨後の産業部門における売上回復過程の統計分析、土木学会論文集B1（水工学）、Vol.78、No.1、2022.

このほか、熊本地震など災害後の企業の操業能力・復旧過程に関する共著論文を多数執筆。

※ 開催概要・お申し込み方法は表面をご覧ください。当日は上記2名が進行を担当いたします。